日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行　日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3－6　電話24－2456

東日本大震災から13年
2万9000人が未だ避難生活送る
原発ゼロでふるさと松江守ろう

危険な原発再稼働ゆるすな
3・11 まちかどから共産党が訴え

3月11日、東日本大震災から13年を迎えました。東日本大震災は大地震と東京電力福島第一原発の事故との複合災害となり、関連死を含めて死者は2万人近く、行方不明者も未だ2500人余、そして2万9千人を超える方が故郷を離れていまだ避難生活を余儀なくされています。

当日は全国各地で慰霊と再建をめざす集いが開かれ、元日の能登半島地震を受け「原発なくせ」「安心して住み続けられるふるさとづくりに国は全力を上げよ」と各地で市民が声を上げました。

日本共産党は全国各地で「震災を忘れるな」「原発のない災害に強い国づくりを」と訴えました。

訴えるむらほ氏と県議、市議団ら

全国で唯一県庁所在地に原発を抱える、ここ松江市では、むらほえりこ衆院島根1区候補、尾村利成県議、舟木健治、たちばなふみ両市議らが訴えました。

むらほ氏は、地震・津波などの自然災害と原発事故が同時に起きる原発震災時の避難への県民不安は高まっていると述べ、「住民の声にこたえるのが政治です。2号機の再稼働は認められない」と訴えました。

尾村氏は、福島原発事故は安全な原発などあり得ないことを示したとして「共産党は原発メーカーなど大企業から献金を受け取っていないからこそ『原発ゼロ』を主張できます。力を合わせ、危険な2号機の再稼働をストップさせましょう」と力を込めました。能登半島地震の被災者救援募金も呼びかけました。

希望を あなたと共に

第29回党大会に参加して

日本共産党島根県委員会
委員長　**上代　善雄**

いま、多くの人が、財界のお金で動く、経済無策、大軍拡の政治にたいして「何とかしたい」と憂えています。何をすればいいのか、どうしたら希望が見えるか、模索が続いています。

私は、党大会決定は、政治を変えていくたたかいの方針であるとともに、それだけにとどまらない、この時代をどう生きるのかについての「行く手を照らす羅針盤」であり、希望そのものだと実感しています。

一部マスコミなどは、日本共産党を「異論を許さぬ党」などと非難する報道をしています。しかし、党大会の討論も、また大会までの討論においても、民主的であり、全党の英知を結集するものでした。

「読めば読むほど面白い」この党大会決定をすべての党員に読んでもらうとともに、多くの国民にこの内容を語り、多くの読者・支持者に日本共産党に加わっていただいて、政治を変えていくことができるように全力をあげたいと思います。

県委員長になってから初めての参加となった第29回党大会は、私にとって、たいへん重圧のかかったものでした。

参加しての一番の感想は、党大会決定が、綱領と科学的社会主義の立場に立って、全党の英知で練り上げられたすばらしさです。

避難計画で住民は守れない
島根原発2号機「再稼働止める」集会ひらく

3月3日、松江市で、中国電力が今年8月の再稼働をめざしている島根原発2号機を巡り、再稼働を止める集会（同実行委主催）が松江テルサホールで開かれ、県内はじめ鳥取、岡山、広島、山口の各県などから約350人が参加し、集会後は会場周辺をデモ行進しました。

同実行委の岡崎由美子代表（弁護士）は、挨拶で「島根原発も半島にある。能登半島地震を踏まえれば、2号機の稼働は許してはならない」と強調しました。

大河陽子弁護士が「原発震災！『避難計画』は住民を守らない」と題して講演。大河氏は避難行動要支援者の支援者不足やバス運転手が確保できない問題などを挙げ、「避難計画は実現可能なものではなく福島原発事故の被害を繰り返すものになる」と訴えました。松江生協病院の眞木高之院長ら4氏が医療や避難の困難性について報告。「島根・鳥取両県知事に対し、2号機再稼働同意を撤回し、島根原発の安全性と避難計画の実効性の再検証を求めるアピール」を採択しました。

日本共産党むらほえりこ衆院島根1区候補、亀谷ゆう子同2区候補はじめ30キロ圏内の地方議員も参加、たちばな舟木両市議が集会とデモ行進に参加しました。

集会後、松江駅前をデモ行進する参加者

党東部地区委員会が党会議開催

10日、日本共産党東部地区委員会は2年ぶりに地区党会議を開催し、来る総選挙と今秋の雲南市議選、来年の松江市、奥出雲町、隠岐の島町と続く地方選にむけた方針を固めました。

13人が発言し、新入党員の思い、市民運動の取組、後援会活動、地方選への決意など、多彩で豊かな討論が行われ、総合計画と結語が採択されました。

次期役員選挙が行われ、新地区役員25名が決まりました。地区委員長に向田聡安来市議、副委員長に たちばなふみ松江市議が新たに就任し、舟木健治松江市議、上代和美雲南市議、河津清氏、樋野伸一氏のあわせて6名が常任委員を務めることとなりました。